

SSL対応推進ワーキンググループ

あなたのホームページから「保護されていない通信」の表示を消しませんか ～ SSL対応のご相談・ご依頼を承ります ～

インターネット上では、「盗聴」「改ざん」「なりすまし」等ネット犯罪が頻発するなか個人や企業の重要情報が頻繁に送受信されており、安心安全にインターネットを運用する必要性から、ホームページ(以下、HP)と閲覧者の間で暗号通信を行う、世界標準のセキュリティ技術SSL(Secure Sockets Layer)によるHPのSSL対応が常識になっています。また、SSL対応していないHPを閲覧すると、WebブラウザのURL表示部に「保護されていない通信」と表示されることが常識になりました。



SSL対応推進ワーキンググループ



SSL未対応

HPを閲覧する時に使うWebブラウザにURLを表示する場所があります。ここに表示しているhttpは通信手順を表します。SSLに対応していない場合はhttpと表示されます。
<http://SAMPLE.kyoto/>

SSL対応

SSL対応をしたHPの場合はhttpの後にSecureを表す“s”がついてhttpsとなります。
<https://SAMPLE.kyoto/>



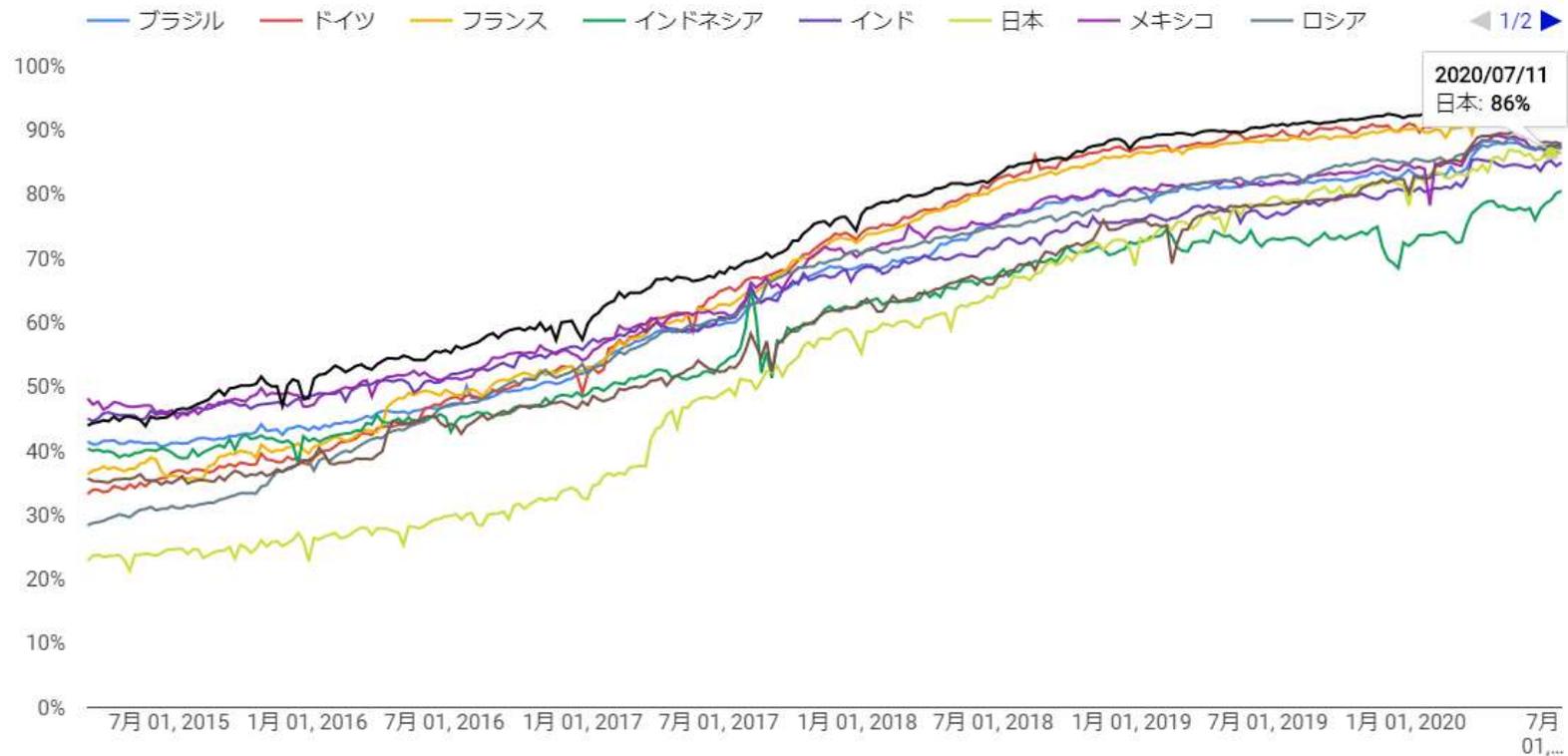
SSL対応推進ワーキンググループ

世界各国における Chrome での HTTPS の使用状況

Chrome での HTTPS の普及速度は国 / 地域によって差があります。たとえば、HTTPS の使用が比較的緩やかに拡大している日本と比べ、ロシアでの HTTPS の普及は急速に進んでいます。

[このグラフで取り上げている国 / 地域の選定方法の詳細](#)

Chrome で HTTPS 経由で読み込まれたページの割合 (国 / 地域別)



出展 <https://transparencyreport.google.com/https/overview?hl=ja>

SSL対応推進ワーキンググループ



このようなお悩みは、当SSL対応推進WGにご相談ください。

なんでも相談してください。： 運営中のHPをSSL対応にしたいけど、どうしたら良いの？何から手を付けたら良いの？等お悩みの方、勧誘や電話での営業はありませんのでお気軽にご相談ください。

コストダウン： SSL証明書は数種類あり、費用も数千円から数十万円まであります。本サービスでは無料SSL (Let'sEncrypt) を使うのでコストが抑えられます。また、他社の無料SSLのサービスは、SSLの設定をご自分で行うものもありますが、そのような面倒もお任せください。

ソースコード修正： HPを表示するためにプログラムが様々なデータを参照しているので、これらのプログラムを修正します。

守る：「盗聴」「改ざん」なりすましを防ぐ。インターネット上で送受信される重要な情報が悪意の第三者から守れます。

信頼：「保護されていない通信」「あんぜんではありません」等の表示がなくなり、HPだけではなく、運営者に対する信頼度が向上します。

SEO： 検索エンジンの評価があがります。

SSL対応推進ワーキンググループ

お問い合わせから納品まで

1. お問い合わせ

詳しくはご相談時にお伺いしますので、まずは窓口の京都情報大学院大学様にご連絡ください。
対応窓口のメディアインパクト様からご連絡を差し上げます。
京都情報大学院大学様メールアドレス: info@ckl.kyoto

2. ご相談

ご要望と対象HPのサーバー情報をご提供ください。

- ① HPのURL
- ② HPを制作またはメンテナンスを契約している会社名
- ③ レンタルサーバーの会社名、プラン名
- ④ 部分的にSSLをお使いの場合はお使いのSSL名

※サーバー情報を元に、常時SSL化に必要なSSL証明書を確認します。
本WGで利用するSSL証明書は無料のLet'sEncryptを使いますが、
お使いのサーバーが対応していない場合や、
サーバーの引っ越しをする場合は別途費用がかかります。

3. お見積もり

ご相談内容をまとめ、お見積りを提出いたします。
内容と金額にご納得いただければ発注書をお送りいたします。
発注書に必要事項をご記入いただき、押印のうえご提出ください。

4. ご入金、サーバー・ログイン情報の提供

ご請求書を発行いたしますので、費用を指定口座にお振り込みください。
※領収書は銀行振込金受取書にて、代えさせていただきます。
既存のホームページの常時SSL対応作業の場合はサーバー情報やCMSの
ログイン情報をご提出いただきます。

5. 作業開始

ご入金、サーバー、CMS情報確認後作業に入ります。

SSL証明書の取得・設置

サーバー側の設定でSSL証明書を取得して対象領域に設置します。

HPのソースコード書き換え

常時SSLに対応するようソースと旧URL表記がある場合はそれも書き換えます。

リダイレクト設定

HPのURLがhttp://からhttps://に変わるので、旧URLに
アクセスしたユーザーを新しいURLにリダイレクトします。

また他のHPからのリンク効果を失わないように設定(301リダイレクト)します。

6. ご確認

納品前にテスト環境にて作業内容をご確認いただきます。
※修正は原則2回までとさせていただきます。

7. 納品

お客様のご確認後作業内容をサーバーへアップロードいたします。

注意事項

- ・トラブルが発生する可能性は低いですが、ご依頼の前にバックアップ作業をお願いします。
- ・常時SSL化によるURLの変更に伴い、Facebookの「いいね」ボタンに表示されている数字がリセットされます。
- ・Google検索にインデックスされているURLは数日～3カ月程度かけて変更されます、そのタイミングで検索順位が変動する可能性があります。
- ・サーチコンソールをご利用の場合はhttpsで始まるURLを新たに登録する必要があります。
- ・Googleアナリティクスをご利用の場合は「プロパティ設定」や「ビューの設定」のURLを「https」に変更する必要があります。

SSL対応推進ワーキンググループ

よくあるご質問

Q1.常時SSL化推進事業に取り組んでいる企業は1社ではないのですか？

A1.HPのセキュリティレベルを上げて、閲覧者が安心して京都のHPを見ていただけるように京情協の会員企業がそれぞれの業種を生かし、協力し合って取り組んでいます。

Q2.何故SSLを無料で提供できるのですか？

A2.Facebookやシスコシステムズ、Akamai Technologies、Verizonといった数多くの大手企業に支えられた、米国の非営利団体であるISRG(Internet Security Research Group)により運営されている無料のSSLサーバー証明書(以下、SSL証明書)であるLet's Encryptを使うからです。

Q3.既に他社で取得したドメインとサーバーを使ってホームページを運用していますがこの事業の対象になるでしょうか？

A3.内容にもよりますので、一度ご相談ください。

Q4.SSLの導入を考えていますが、相談・見積もりは無料でしょうか？

A4.はい。無料です。

Q5.補助金を使えると聞いていますがいかがでしょうか？

A5.補助金の募集要件や募集期限によりご案内できるものが異なります。また、補助金にはメリットもデメリットもございます、詳しくはご相談ください。

Q6.ソースコード修正の費用はどの位かかるでしょうか？

A6.お見積もりをさせていただかないと分かりませんが、30,000円(税別)からとなっています。

Q7.レンタルサーバーを変えようと思うのですが、相談に乗っていただけるでしょうか？

A7.はい。承っております。

Q8.レンタルサーバーの費用を教えてください。

A8.初期費用3000円(税別)、使用料月額2000円(税別)からございますがお客様の用途によって各種取り揃えてございますので、詳しくはご相談ください。

Q9.既に有料のSSLを使っていますが、無料SSLに変えてもらえるでしょうか？

A9.内容にもよりますので、一度ご相談ください。